

未来を生きる子どもたちへのメッセージ ④
『ドローン & ビンテージバイク』

先日、神島田小学校の百五十周年で、ドローンを活用し、ミュージックビデオやCMを制作する小沢諒祐さんの講演を聞く機会がありました。彼はなんと中学生の時に起業し、19歳となった現在ドローン・ムービーの世界大会で優勝し、ドローンを活用した様々な分野でトップランナーとして活躍しています。子どもたちは、当日見せて頂いたドローンと共に、彼の夢のような起業のサクセス・ストーリーに胸を熱くしていました。起業家教育では、起業家としての能力と共に「判断力・実行力・リーダーシップ・コミュニケーション能力・前向きな情熱」を育てることができると思いました。津島西小学校の百五十周年では、サクソ奏者のユッコ・ミラーさんが来てくださり、名探偵コナンのテーマミュージックなど子どもたちの心に残る演奏をしてくださいました。

演奏と言えば、先日文化会館でお箏の発表会に寄せていただきました。幼い時からお箏の稽古をしている皆さんが、様々な曲を演奏してくださいました。特に高校生の演奏には感激しました。このような演奏ができるようになるには、毎日の稽古が必要なのでしょう。稽古とは同じことを繰り返す、考えながら継続することだと思います。「千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす」という武道の言葉を思い出しました。習い事とは習う中で、まず稽古をしてみても楽しみを見つけて出すことができるようです。

11月26日、天王川公園でビンテージ・バイクのパレードランがありました。ご覧になりましたか。昭和42年までにつくられたバイク約100台が展示され、何台かのバイクが丸池のまわりを走りました。昭和30年代、天王川公園で行われていたオートレースを再現していただきました。まさに56年ぶりの復活パレードとなりました。天王川のまわりにエンジン音とガソリンの匂いが立ち込めました。幼いころ、私は小学生になったばかりの頃、聞いた音とかいだ匂いでした。ビンテージ・バイクの美しさ、性能の確かさに心も目も奪われました。ふとライダーを見るとビンテージ・バイクにぴったりの服装の方ばかりでした。さすがに、この日ばかりは天王川公園も津島の街中も50年以上前の時代にタイムスリップした一日となっていました。

ビンテージバイクショーあり師走かな

令和5年12月8日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視